

多くの学生と社会人の熱気があふれた。

2011年12月18日(日) 千葉県山武市
京葉オリエンテリングクラブ大会

優勝者

ME	加藤弘之	0:34:54	ES 関東 C
WE	皆川美紀子	0:38:15	みちの会
M10	国沢 琉	0:18:29	武蔵野四小
M15A	池田 匠	0:22:54	
M18A	宮本 樹	0:25:12	柏市立土中
M20A	松本萌希	0:39:27	桐朋 IK
M21A	小山博之	0:41:41	新潟大学
M30A	福田雅秀	0:42:39	川越 OLC
M40A	小林岳人	0:33:29	ES 関東 C
M50A	齋藤英之	0:33:47	川越 OLC
M60A	小八重善裕	0:31:17	鈴亀 OLC
M70A	今井信親	0:34:06	ワンダラ
W12	笛木志歩	0:46:34	西蒲 OLC
W15A	宮本和奏	0:19:38	柏市立土中
W18A	山岸夏希	0:15:51	公文国際
W20A	大関幸織	0:41:25	新潟大学
W21A	広江 望	0:45:19	ES 関東 C
W30A	清谷千鶴	0:57:03	横浜 OLC
W40A	小林正子	0:39:03	ES 関東 C
W50A	齋藤まどか	0:41:54	川越 OLC
W60A	今井 栄	0:52:53	ワンダラ
B	谷山嘉一	0:27:38	OPC43
N	及川翔太	0:30:49	中大附属中

北東 MS	平野弘幸	0:40:31	東北大
北東 WS	畠山真紀	0:44:37	岩手大
関東 MS	三谷洋介	0:35:39	東京大
関東 WS	星野智子	0:35:53	津田塾大
関東 MF	藤井邦俊	0:41:51	東京農工大
関東 WF	川野真子	0:33:00	東京農工大

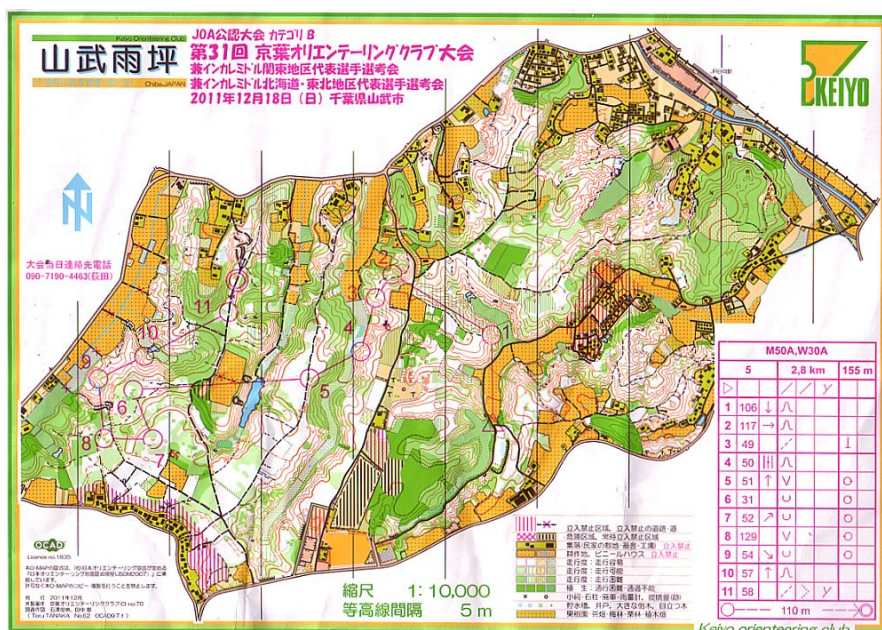
学生^の選考会を併設

京葉クラブ大会は B カテゴリの JOA 公認大会としてミドル・ディスタンス競技が開催された。

だが参加者の半分以上を占めた学生たちにとって、インカレミドルの出場権をかけた選考会という意味合いのほうが強い大会だった。本大会で北海道東北学連と関東学連の選考レースが行われた。

学生は秋のインカレロングが終わると、春のインカレミドル・リレーに照準を切り替える。こうした学生の需要に京葉クラブは対応した。

これにより学生、一般あわせて 500 名を超える参加者がこの大会に集うこととなり会場は大いに賑わった。



全日本リレー2010 再び

晴天に恵まれた山武雨坪。ここは古くから何度となくオリエンテリングに使われてきたテレインである。2011 年 2 月には全日本リレー大会も開催されている。

さて、スタートしてみると M50A コースの大筋の流れも 8 か月前の全日本リレー大会のコースの流れをほぼなぞっていた。

個人的にはボロボロ

筆者・木村は東大大会以来の本格的なレース参加となる。だがこの日はボロボロであった。こういうのをレース感が掴めないというのだろう。技術的な練習不足は明らかだ。やっとレース感を取り戻したのはフィニッシュ直前だった。フィニッシュしてみるとコントロール飛ばしが発覚。ボロボロのレース、ここに極まった。

だが、課題も判った。視力が弱くなっているのだ。このレースが終わって私はすぐにマグニファイア(拡大鏡)を購入したのだった。次回はこの秘密兵器を発動しよう。

前日には JOA 理事会

前日となる 12 月 17 日(土) 昼には東京で JOA 理事会が開催され、これに出席してきた。

国の法人見直しに伴い、JOA は来年度から公益法人として再出発する。その進捗報告などが理事会でなされた。

さらには東日本大震災被災地への支援事業、MTBO 委員会の設置、全日本スキー0 大会規定の審議、2017 年冬季アジア札幌大会への取り組みなどが話し合われた。さらには今後の全日本大会の開催や2016年マスターズ大会への取り組みなども話し合われた。活動に派手さはないが一步一步進んでいる感じである。

前日夜には JOA のスキー0 委員会のミーティングも行われ、今シーズンの活動が話し合われた。初心者講習会のこと、日韓合同合宿のこと、冬季アジア大会のこと、選手へのサポートなどなど。東京に皆が集まる機会に一気にこうした話し合いが行われた。

(木村佳司)